事業承継の情報を共有

県や地銀などが連絡会

県事業承継・引継ぎ支援センターは17日、岐阜市内で金融機関連絡会を開いた。十六フィナンシャルグループ傘下の経営承継支援会社ＮＯＢＵＮＡＧＡサクセション（岐阜市）と東濃信用金庫（多治見市）の担当者が事業承継の取り組みを発表した。

企業の後継者問題の情報を持つ金融機関との連携強化を目的に２０２１年から年１回開催。地銀、信用金庫、信用組合、県、岐阜財務事務所などから約30人が出席し、情報共有した。

ＮＯＢＵＮＡＧＡサクセションの福井基泰社長は、Ｍ＆Ａ（企業の合併・買収）に対する考え方や創業90年の会社の経営者が株式譲渡する際の気持ちなどを説明。東濃信用金庫とうしん地域活力研究所の担当者は、恵那市の老舗日本料理店を古参従業員が承継した事例などを紹介した。



事業承継の取り組みを共有した金融機関連絡会＝岐阜市神田町、岐阜商工会議所

無断複製・転載を禁じます